



# EAPA Japan Branch 一般社団法人

## 国際EAP協会 日本支部

世界最大で最も古いEAPコンサルタントの専門家協会で、現在世界約40ヶ国にてEAP専門家が活躍しています。当協会はすべてのEAPの実践現場において継続的に最高水準のサービスが提供される事をミッションとして掲げ、EAP専門家の業務のサポートを目的として、EAPに関する信頼性の高い情報を提供し、EAジャーナルの発行や、専門家のネットワーク構築および研修を提供する大会を各国で実施しています。

### この度、CEAP（国際EAPコンサルタント）資格制度を リニューアルいたしました！

（リニューアル内容）

- ・手続きは日本語でできます。
- ・実務経験がなくても養成講座を受講し、試験を受けることができます。
- ・養成講座と試験はオンライン提供になり、再受験随時可能です。
- ・受験問題が改正され、日本の状況に即したEAP関連項目が出題されます。

### 国際EAP協会（EAPA）とは

#### 01 専門家養成

国際EAP協会認定コンサルタントCEAP養成講座の開催および、当協会認定EAPコンサルタント技能検定を実施しています。

#### 02 調査・研究

共同研究、調査、効果測定EAPプログラムアドバイザー一等を行っています。

#### 03 広報

会員向けに国際EAP協会が定期発行している“EAジャーナル”の日本語版抜粋、注目記事の提供を行なっています。同協会本部が公開している情報は、当協会Webサイトに随時ご紹介しています。

#### 運営実行委員

理事長	市川佳居	下田 彬
副理事長	角田 透	谷大助
理事	西川あゆみ	谷口知子
	松井知子	坪井智之
	亀田高志	塚原正明
	鶴飼 陽	監事 安原信之
	坂部善久	監事

#### 会員・賛助会員

##### 個人会員

年会費10,000円  
特典：会員専用ページへのアクセス他  
研修会無料参加他

##### 賛助会員

年会費 60,000円 (2024年3月現在)  
特典： 会員専用ページアクセス  
賛助会員URLのリンクとバナー広告  
CEAP LMS受検料 年間1名様無料

EAPコンサルタント技能検定・EAP入門講座開催可能

## CEAP（国際EAPコンサルタント）資格について

CEAP（国際EAP協会認定EAPコンサルタント）は、世界で唯一のEAP専門家の国際資格です。

1987年に米国で認定開始され、EAP会社、企業、団体、第三者評価組織、健康保険会社、及びクライアントである企業や個人により広く認識されてきました。

米国の大手EAP会社ではCEAP保持を採用基準にしている場合もあります。現在では、日本語、中国語に翻訳され、アジア、中南米、アフリカなどの各国のEAP専門家の品質保持のための国際標準となっています。

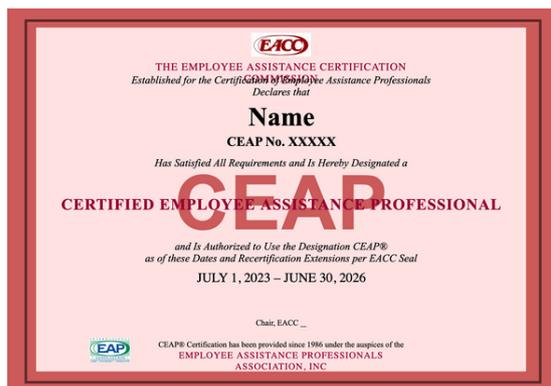
CEAP保持者はEAPを行うために必要な知識を有しています。

CEAP認定プログラムは、国際EAP協会（EAPA）の中の組織であるEACC（CEAP認証委員会）により講座内容、試験内容と合格基準が管理されています。

CEAPにはCEAP(米国)とCEAP-I(米国以外の国)のバージョンがあり、日本国内では、CEAP-Iの日本語版を使用しています。CEAP-I日本語版は、国際EAP協会の支部である、(一社)国際EAP協会日本支部(以下、当協会)により運営されています。

2023年度より、CEAP資格制度を刷新し、オンライン学習システム、確認テスト、メンターリングの導入により、

- 1) ご自分の時間に合わせて受講がしやすくなりました。
- 2) 従来 of 年1回のテストではなく、講義を聞いた後に5つのモジュールごとにテストがあり、正解できるまで何回でもやり直せる試験になりました。
- 3) 養成講座の拡充および、メンター制度の導入によりEAP未経験者も受験が可能になりました。
- 4) EAPの業務経験、行動科学系の修士号がない方も受験できるようになりました。

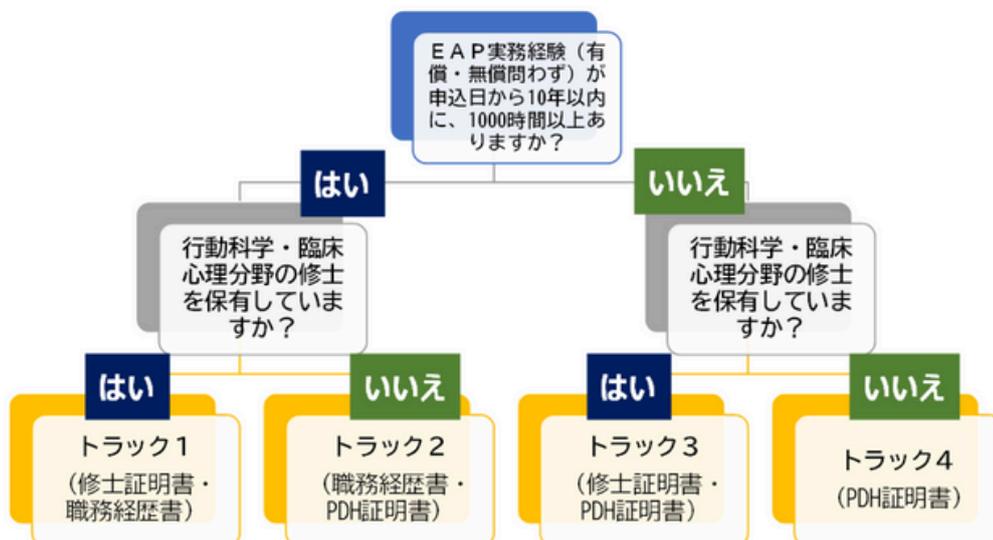


## CEAP(国際EAPコンサルタント)取得するには

CEAP受験のためには、経験、学歴によって、4つのトラックがあります。

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4
実務経験	申込日から遡って10年以内に1,000時間以上の有償あるいは無償のEAP経験あり。	申込日から遡って10年以内に1,000時間以上の有償あるいは無償のEAP経験あり。	申込時から遡って10年以内に1,000時間以上の有償あるいは無償のEAP経験なし。	申込時から遡って10年以内に1,000時間以上の有償あるいは無償のEAP経験なし。
学歴	EAP関連領域(社会福祉、心理など)の修士保有者あるいは医学部卒	学歴不問	EAP関連領域(社会福祉、心理など)の修士保有者あるいは医学部卒	学歴不問
事前学習講座	不要	オンラインライブ開催の研修会参加(約20時間、4日間)。事後録画視聴による参加可能。	オンラインライブ開催の研修会参加(約20時間、4日間)事後録画視聴による参加可能。	オンラインライブ開催の研修会参加(約40時間、8日)事後録画視聴による参加可能。
LMS(オンライン学習システム)による受験	LMSにより全5章のプログラム(モジュール)を実施。 各章毎にテストへの合格が必要。 LMSは開始から3か月以内に終了する必要があります。			
事後学習講座	不要	不要	オンラインライブ開催の研修会参加(20時間、4日間)事後録画視聴による参加可能。	オンラインライブ開催の研修会参加(20時間、4日間)事後録画視聴による参加可能。
メンターリング(実務経験の代替措置)	不要	不要	24時間 2時間X12日間 オンラインライブ開催(事後録画視聴参加はなし)	24時間 2時間X12日間 オンラインライブ開催(事後録画視聴参加はなし)

### トラックごとの講座



## EAP (Employee Assistance Program) の定義

EAPとは、職場に於ける健全な人的運営と生産性の向上を目的として、組織と個人に対して提供されるプログラムです。その範囲は幅広く組織への戦略的問題から社員とその家族個人々々への個人的な問題を扱います。

職場のプログラムとしてEAPを提供するスタイルは多様であり、その組織のサイズ、事業内容、ニーズごとによってEAPプログラムのデザインを実施します。

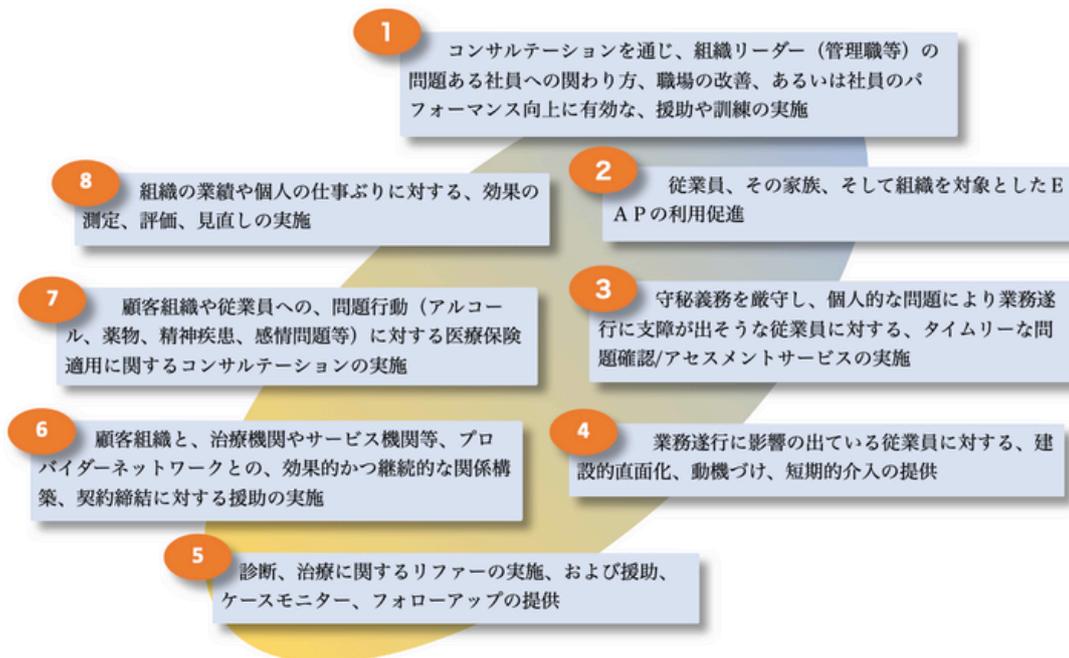
一般的にEAPでは専門家によって次の2つのサービスが提供されます。

1) 職場の生産性、健全な運営の維持および向上、またその組織ニーズに対しての提言を行います。

2) 人間の行動とメンタル上の健康に関する専門家のノウハウを通じてサービスを行い、従業員をクライアントとして個人的な問題の整理や解決を援助します。個人的な問題は、健康（ウエルネス）、メンタル、家族、経済問題（借金など）、アルコール、薬物、法律、感情、ストレス、など仕事の結果に影響を及ぼしうる様々な問題に及びます。

## EAPのコアテクノロジー

### ～EA専門家（EAPコンサルタント）の基本業務8項目～



## 当協会のご紹介

当協会はアメリカ合衆国ヴァージニア州に本拠地をおくEAPA（国際EAP協会）の日本支部として設立されました。

EAP（Employee Assistance Program/従業員支援プログラム）の普及、推進、人材育成を行なっています。

EAPは1990年代後半から国内にも徐々に浸透してきていました。2007年にはEAPの国際資格であるCEAP（Certified Employee Assistance Professional /国際EAP協会公認EAPコンサルタント）の資格試験内容の日本語翻訳が完了、国内におけるEAP専門家育成の基盤ができました。このCEAP資格はEAPの専門家を表す資格で米国以外の世界各国で通用する資格です。

2008年企業のメンタルヘル体制を支援するプロ育成を強化するため当協会はCEAP-Iの普及促進を強化していくことを決定しました。

現在、一般社団法人とし、EAPAの日本国内における唯一の支部としてCEAP資格者の増加を推奨し、保持者の継続教育、事例検討会などの活動を通してEAP専門家のネットワーク強化、情報共有の場の提供等を行なっております。

倫理綱領に共感でき、活動内容にご興味がある方で、これからEAPを勉強したい、EAPコンサルティングができるようになりたい、既に産業領域でヒューマンサービスの仕事をしている方々を歓迎します。

## 【2023年3月 CEAP表彰式. 明治記念館にて】



《左から》  
松井知子 理事  
Dan Boissonneault EAPA President  
Julie Swarts EAPA CEO  
亀田高志 理事



《CEAP合格者の皆さんと共に》

## 講師陣のご紹介（五十音順）

**市川 佳居 講座名「MHアセスメント&リファーマー」「プログラムデザイン」**

(一社)国際EAP協会 日本支部理事長。レジリエ研究所所長。APEAR(アジア太平洋EAP円卓会議) 会長。日本国内およびアジア太平洋地域において、EAP およびレジリエンスを推進。CEAP、医学博士、公認心理師、臨床心理士、米国カリフォルニア州LCSW。

著書：「職場ではぐくむレジリエンス」、「EAPハンドブック」、「働く女性のヘルスケアガイド～おさえておきたいスキルとプラクティス」等。

**大庭 さよ 講座名「職場復帰支援」**

臨床心理士・公認心理師・キャリアコンサルタント。メンタルサポート&コンサル東京代表、VISION PARTNER メンタルクリニック四谷エグゼクティブカウンセラー。

慶應義塾大学法学部卒業後、都市銀行に入行。退職後、慶應義塾大学大学院社会学研究科に進学し、博士課程在学時から医療法人社団弘富会神田東クリニック/MPSセンターにてカウンセリング、コンサルテーション、組織サーベイ、教育・研修に携わり、2021年3月末までMPSセンター長を務める。2021年4月よりメンタルサポート&コンサル東京を立ち上げる。

**木下 芳美 講座「倫理研修」**

ワークライフ・エンカレッジ株式会社 代表取締役。CEAP、公認心理師、シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、教育ファシリテーション修士。

外部EAPとして企業に定期訪問し、カウンセリング、コンサルテーション、教育研修に従事。

また、医療機関において、カウンセラーならびに、リワークプログラムでの講師として、復職支援に携わる。組織開発やグループアプローチで、よりよい職場づくりのコンサルも行っている。

**木村 充 講座名「依存症アセスメント」**

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長。医学博士、精神保健指定医、精神科専門医制度指導医、精神科専門医。日本アルコール・アディクション医学会 評議員。

**小林 絵理子 講座名「CBTの基礎：ACTを中心に」**

TIP (東京国際ナショナルサイコセラピー) 共同代表。米国カリフォルニア州サイコロジスト、臨床心理士、博士(カウンセリング心理学)、認知行動療法(アクセプタンスコミットメントセラピー)及び異文化間心理学を専門とする。

**柴田 喜幸 講座名「インストラクションデザイン」**

産業医科大学 産業医実務研修センター副センター長・教育教授。熊本大学大学院教授システム学専攻博士後期課程満期単に取得退学。専門 教育設計学。社会人教育事業に携わったのち、2008年4月より現職。東京医科歯科大学、熊本大学、三重大学、佐賀大学、広島大学等の非常勤准教授・講師等歴任。全国医師会、企業・団体、教育事業者等の研修講師、コンサルティングを行う。

主な著書：「産業保健スタッフのための 教え方26+5の鉄則」、「上司・リーダーのための不安全行動改善の手引き」等。

## 講師陣のご紹介（五十音順）

**渋谷 英雄 講座名「EAPコンサルタント技能検定」**

CEAP。法政大学、東洋大学大学院、東京大学大学院を経て臨床心理士。航空会社勤務後、大学院に進む。5社以上の大手企業相談室勤務を活かし、現在ピースマインド株式会社にてメンタルヘルス講師。国際EAP協会資格委員長、日本オンラインカウンセリング協会理事、東洋大学総合情報学部客員教授（スポーツ心理学）等を務める。

**新開 隆弘 講座名「精神科の薬」**

産業医医科大学医学部精神医学教室准教授。精神科専門医・指導医。産業現場においてメンタルヘルスの重要性はますます高まっています。職場のメンタルヘルスを専門に統合失調症、気分障害、依存症、発達障害、認知症など、代表的な精神疾患の理解と実践的な対応についてわかりやすく解説いたします。

主な著書：「事例に学ぶ職場のメンタルヘルス—産業医・精神科医のレポート（中災防新書）」  
「精神疾患と遺伝 臨床精神医学講座S11巻（中山書店）」

**瀬戸山 聡子 講座名「短期問題解決型カウンセリング」**

帝京平成大学健康メディカル学部心理学科教授。博士（学術）。公認心理師、臨床心理士、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント。総合商社に勤務後、大学院へ進学。修士課程修了後より精神科クリニック・外部EAP機関にて個人と組織を対象とする心理職・EAPコンサルタント・研究職として勤務後、2020年より現職。

**戸津崎 貴文 講座名「産業保健とは」**

戸津崎労働衛生コンサルタント事務所 所長。医師、産業医、労働衛生コンサルタント。産業医科大学 ストレス関連疾患予防センター特命講師。

製鉄業、金融業の産業医を経て、現在、総合プロフェッショナルファームの産業医として勤務。

**西川 あゆみ 講座名「EAP-CIR クライシスケア」**

WorkWay 株式会社 取締役会長、国際EAP協会日本支部 理事、NPO法人メンタル・レスキュー協会 理事。CEAP。アメリカの大学院修了後、日本モトローラでEAP事業立ち上げ、後に独立起業し、2002年に株式会社イーブ創業、代表取締役。以来、EAPの最前線で活躍。

**宮中 大介 講座名「ストレスチェック」**

EAP会社にてストレスチェック事業、新規事業開発部門の部門長を経て、株式会社ベターオプションズ代表取締役就任。ストレスチェック開発、職場環境改善、エンゲージメントサーベイ、パルスサーベイ等の人事関連サービスを多数開発。慶応義塾大学総合政策学部島津明人研究室、特任助教。公衆衛生学修士。

## 賛助団体の講師陣のご紹介



## 坂部 善久

早稲田大学卒業後、リクルートグループ、首都圏EAP会社勤務を経て、2003年地元静岡県に戻り、東海初のEAP専門会社を設立。医師、保健師、公認心理師、社労士30名体制で、地方都市の大手・中堅企業、自治体向けにBroad Brush(幅広い)型のEAP事業を展開している。メンタルヘルスやカウンセリングに留まらず、人や組織の課題全般に対応。近年は健康経営、人的資本経営に関する助言や制度構築にも力を注いでいる。ISO30414(人事マネジメント)リードコンサルタント/アセッサー、日本産業ストレス学会理事。



## 田村 三太

(一社)MHCリサーチ&コンサルティング代表理事。CEAP、精神保健福祉士、キャリアコンサルタント。精神障害者の社会復帰支援を経て、働く人向けのカウンセリング、コーチング、コンサルテーション、研修、復職支援等を行っており、これまでのメンタルヘルス及びキャリアに関する相談実績は10,000人以上。専門分野：復職支援、自殺への危機介入、企業のストレスチェック及び集団分析、大学生のキャリアカウンセリング、セルフケア、ラインケア研修等。



## なかたに 博之

一般社団法人EAPコンサルタントネットワークぐんま代表理事  
生き生き職場づくり研究所代表。

CEAP、公認心理師。製造業での16年間の技術職経験を経て、現場改善コンサルタントに転身。2015年よりEAPコンサルタントとして独立し、ストレスチェックの導入、職場改善支援、各種研修を通じて企業と従業員の生産性及び働きがいの向上に寄与。専門知識と実務経験を駆使し、多様なニーズに応じた実践的な解決策を提供することで、企業と従業員双方の発展を支援。



## 下田 彬

CEAP、TeamSTEPS Master Trainer、レジリエ・コーチ、ヘルシーリレーションインストラクター。World Life Mapping Inc. 代表。医療組織健康マネジメント協会 副理事長。

EAPを軸とし、病院や企業に対して情報システムを活用した組織改善を行う。  
筑波大学 知的システム主専攻 サイバニクス研究室出身。在学中に起業。



## 谷口 知子

(一社)目白心理総合研究所 理事長、RoomTurnBlue 代表

(一社)国際EAP協会日本支部 ブロードブラッシュ推進委員会委員長

CEAP、公認心理師、臨床心理士、キャリアコンサルタント、CBT Extra Professional®  
国家公務員を辞めて心理職として生きることを決意。その後は、教育、司法、医療、産業領域において幅広く臨床経験を積む。現在は、EAPをはじめとしたメンタルヘルス向上に関する活動や、認知行動療法を中心とした心理およびキャリア支援活動を行う傍らで、認知行動療法セラピストおよびEAPコンサルタントの育成にも力を注いでいる。

## メンターのご紹介

### 楳田 京子

Master of Education (M.Ed.) in Counseling、公認心理師。臨床心理士。CEAP。企業内カウンセリング、EAPカウンセリング経験20年以上。バイオフィードバック等の専門スキルを有する。

### 霜田 道子

CEAP。公認心理士。大学にて生理心理学を学ぶ。卒業後、化粧品会社研究所にて脳波・心拍等の生理指標から情動を計測する研究やスキンケア商品の開発に従事。現在はカウンセリングストリート株式会社にて研修やe-ラーニングの開発、産業医体制の導入支援、研修講師、カウンセラー等をしています。

研修内容：ラインケア研修（基礎編・発症後対応編）セルフケア研修 ハラスメント防止研修  
傾聴研修 等

### 新名 佐代

CEAP。キャリアコンサルタント。一般社団法人 職場のメンタルヘルス支援委員会 代表理事。IT企業にてコンサルタントを約20年務める。またその間プレイングマネージャーとして組織のマネジメント職を経て人事の専任となり、採用、人事制度の改定、人材開発、衛生管理体制やストレスチェック制度の立ち上げに従事。

現在、IT系企業で人事を担当しながら、キャリアコンとしての活動を行う。

### 菅原 朋子

CEAP。現在は、一般企業にてEAPを提供しています。前職は大学のハラスメント相談室ですが、セクシュアルマイノリティ相談や外国人労働者の相談支援などに携わる機会に恵まれました。職能団体では、メディア連携委員会に所属しています。キャリアのスタートは精神科医療機関でした。個人的には、障害学や社会学、心理学、社会福祉論、ジェンダー論といった学際的な環境で修士課程を学び、現在は課題解決のデザインについて勉強中です。支援者支援の仕組みづくりを志しています。

### 谷 大助

CEAP。国際EAP協会日本支部理事。総合人財会社のEAP部門の責任者として、EAP・職場のメンタルヘルス対策に関するコンサルティングをはじめストレスチェックに伴う組織（集団）分析に関わるアドバイジングや各種研修の講師、その他全サービスの品質管理者として組織と従業員の生産性向上のための活動に従事した後、独立。

「安全衛生教科書 メンタルヘルス・マネジメント(R)検定Ⅱ種・Ⅲ種テキスト&問題集」（翔泳社）  
第4章執筆。

### 谷口 知子

（略歴は講師紹介ページ参照）

### 田村 三太

（略歴は講師紹介ページ参照）

## メンターのご紹介

### 塚原 正明

CEAP。特定社会保険労務士。認定専門公認心理師。国際EAP協会日本支部監事。社会保険労務士法人ウェルビーイング代表。組織が健康的に機能し、個々人が能力を発揮し達成感を感じられる職場づくりを支援しています。具体的には、社会保険・労働保険の手続、労務相談、人事制度構築、マネジメント研修、育児・介護・治療と仕事の両立支援、心理カウンセリング、コーチングを実施しています。

### なかたに 博之

(略歴は講師紹介ページ参照)

### 野口 敬子

CEAP。臨床心理士。公認心理師。学校現場や医療系大学健康管理センターでの相談活動を経て、外部EAP会社に勤務。独立後、企業・公的機関にて広く相談活動を展開。20年余にわたり、従業員のメンタルヘルス対策・危機対応・惨事における支援から、人事・産業保健スタッフへのコンサルテーション、管理職教育・職場環境改善・組織力強化を目指したコンサルテーション、研修・啓発活動まで幅広く担当。

### 堀 恵子

臨床心理士、公認心理師。精神科臨床を10年、小児科臨床を10年経たあと、1998年に「ながら心理相談室」を開設。2004年、精神分析学会認定精神分析的心理療法士取得。子どもから大人まで個人カウンセリングを中心に提供してきたが、不調をきたす職場環境に働きかける必要性を感じて2011年にCEAP取得。名古屋EAPコンサルタント研究会を設立し、産業メンタルヘルスに関わる異業種交流を図り、その仲間たちと中小企業や児童福祉施設の職場環境改善に取り組んだ。

2019年、「こころのげんき株式会社」を設立。2022年、松本拓真先生（岐阜大学）と共に、子どもの心の支援とEAPとを結びつけた「ここあプロジェクト」を開始する。

### 宮澤 有里

レジリエ研究所株式会社 主任研究員。CEAP。臨床心理士。公認心理師。レジリエコーチ。航空会社、大手幼児教育研究所を経て、2019年より現職。当研究所では、抑うつ、パーソナリティ、レジリエンス研究やストレスチェックの組織分析などの統計解析を担当する。公的機関、企業内外でコンサルタントとして研修、コーチングを行う。幅広い世代に心理検査も提供している。行動科学研究専門。

### 湯佐 真由美

外資系食品メーカーで営業、営業企画に従事したのち、臨床心理学を学ぶ。大学院在学中より、総合病院にてカウンセリング、集団療法などを行い、そののち外部EAPにて個人への支援、マネジメントコンサルテーション、ストレスチェック、組織改善などに従事。現在は、再就職を支援する企業にてキャリアを中心とする支援を行っている。資格など：CEAP、公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士、キャリアコンサルタント、第一種衛生管理者、臨床心理士。